

風水のしづら風

● 5月17日(水)→22日(月) 午前10時～午後8時 / 最終日は午後5時閉場
● 大丸ミュージアム(梅田) 大丸梅田店15階

入場無料

展示販売

地球の
本来の
ヨリノコ。
に向けて



300th
大丸創業300周年
SINCE1717

DAIMARU

梅田店
電話(06)6343-1231
www.daimaru.co.jp

どなたでも気軽に参加できます。作り手と触れあひながら、アジアに根ざした手仕事を間近で見て体験しませんか。

レクチャー&ワークショップ 参加募集

●15階 大丸ミュージアム(梅田)

申込制のワークショップは、ファクシミリにて、参加ご希望のワークショップ名・開催日時、氏名、ご連絡のつく電話番号を明記のうえお申し込みください。

FAX:(06)6343-4172 ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

●**申込制**の記載がないものは、時間までに会場へお越しください。●参加費の記載のないものは無料です。●いずれも予定人数に達した際には参加いただけません場合があります。●日程や内容を変更する場合がありますが、ご容赦ください。

5月17日(水)

■午前11時30分～

ワークショップ

「ベンガラ板

締め紋(マンダラ模様)

ベンガラ 中島留彦

申込制 ●定員10名様

●参加費 税込2,160円

(テキスト・材料費込み)
※エプロン着用または汚れてもいい服着用。
※ゴム手袋、ビニール袋をお持ちください。

■午後3時30分～

講演

「糞掃衣カラ

大麻布二至ル」

譽田屋十代目 山口源兵衛

5月18日(木)

■午前11時30分～

ワークショップ

「マニー(ワック)の帯作り」

やちむん館 池原美智子

申込制 ●定員10名様

●参加費 税込1,620円

(材料費込み)

■午後3時30分～

お話と実演

「絹と麻と木綿のはなし」

下村ねん糸 下村輝、
西銘通商 濃邊春治

5月19日(金)

■午前11時30分～

ワークショップ

「シトロネラの帯づくり」

やちむん館 池原美智子

申込制 ●定員10名様

●参加費 税込1,620円

(材料費込み)

■午後3時30分～

映像とお話

「四季の僻村生活」

小林政一

5月20日(土)

■午前11時30分～

民族楽器の演奏と現代の

東洋服ファッションショー

「身衣(MIGOROMO)ショー」

■午後3時30分～

韓国の太鼓と唄、舞など

「音と舞」

いずれも出演:ミナル(舞)、

チエ・ジェチオル(韓国の太鼓と踊り)

ほか 出展作家

5月21日(日)

■午前11時30分～

ワークショップとお話

「植物の良日旅立!」

～落ち葉を全員相乗UFOエクステリア風

大作に、ハーブを世界唯一MYリスに～

「植物旅行社」社長「植物送人」

二名良日

申込制 ●定員30名様

●参加費 税込3,240円

(材料費込み)

■午後3時30分～

映像とお話

「ここに生きる

ここで生きる」

地元学 吉本哲郎(水俣より)

5月22日(月)

■午前11時30分～

映像とお話

「西ティモール

原始機で織る

経絞織と縫取織」

ティモール・テキスタイル

岡崎真奈美

帆船本家 富春館(大野川の食文化と古道具)

もしよか堂(自然食)

やちむん館(琉球民具・古布衣)

棉生テキスタイル(木綿布) ほか

詳しい情報は
ホームページでも!

大丸ミュージアム 検索

www.daimaru.co.jp/
museum/



Monderico

やまうち
山内えり子

「からむしとこぎん刺し」

自分の手で着るものを作っていた時代—からむしを畑で栽培し、繊維を取り、糸を績み、機を織り、ようやく布になる。素材となる草から、季節を通し、手間をかけて、布をつくり続けていきたいと思っています。

ひひひ

すえた まさし

末田昌士

「衣服」

「日日の暮らしの中で、人人が光輝き、豊かな気持ちになれるものづくり」をコンセプトに衣服を制作しています。天然素材のもつ心地よい風合いや温もり、息使いを大切に、四季折々の恵に感謝して、こころをいれる。愛着をもつとともに生活し、着る喜びを感じられるように。



タナカレンコン

「レンコン農家」

春には、春の音を聴き
夏には、夏の光を見る
秋には、秋の風を読み
冬には、冬の豊かさを享受する。
小さな里山の麓、小さな湧水
が出る場所で、美しく美味しい
レンコンを育てています。



ふたな よしひ

「植物旅行社」社長「植物送人」二名良日

「野生植物の輪+シンボル制作」

半世紀も前から「植物旅行社」やってた事に、今頃やっと気づきました。旅立ちのドレスアップ輪装設を手伝って、「お疲れさま!行ってらっしゃい!」と送り出す事が多かったのですが、今回の「草木舟」は、海白波に手を引かれ、自力で大海原に帰って行ってくれました。送人としては、感動しきり、合掌あるのみで御座いました。「必ず帰ってくる!」と、待つ御方がいらっしゃるのも、亦、摩訶不思議な奇蹟かと!



こばやし まさお

小林政一

「野良着とボロ布」

地域の古い民家を解体してきた。家に残された素材の原麻や織り機、織物はとっておいたが、今になってボロ布、ゆっこぎや細すねはかまと呼ばれる作業のスポンを眺めている。「故きを温ねて新しきを知る」かな。



シンボル/二名良日 写真/荒川晋作 題字/「風水土のしつらい展」リチャード・フレイビン 「地球の本来に向けてヨソソコ。」石原稔久 企画/ゆうど 今井俊博・芽

出展者(五十音順・敬称略)
※出展者出品内容が部変更になる場合もありますが、ご了承ください。
【布衣】
亜香 曾木朝子「ヒラヤ染織の衣」
Aia 真砂三千代「衣」
絲つばき 草間よし子
【一番涼しい麻布「からむし」の布衣】
小倉猛斗「アジアの生活着」
オファー「オオネの綿織物」
柿洪 桃花「ふくろもの」
金井工芸 yukihitokanai
【奄美泥染草木染】
GRASS HOUSE 秦泉寺由子
小林政一「野良着とボロ布」
Sind 原口良子「柿染染め衣」
田垣繁晴「小夜子ジーンズのスカートと付太」
ティモール・テキスタイル 岡崎真奈美「アジアの布鳥居節子(ツツ)」
布子糸つ子「那須廣子「Bag 雑貨」
はちす「窓々改め」(「布きもの」)
ひひひ 末田昌士「衣服」
Monderico 山内えり子
Little Eagle かおり「旅衣」

【木・草・竹・紙】

垣内幸彦「ワカン」使う漆とオマケの仲間たち」

加藤育子「木のつわりと日本蜂窩」

探検植物作家 二名良日「野生植物の輪」

遠見和之「手漉き紙」

萩下美知代「木の指輪「アケセサリ」

森本寛司「木の器」

森口竹工業「竹雑器」

【玉石・玉ガラス・金属】
アーツ&アンティークス ミアールカ

【シエリー・ガラス・銀器】
O2O2とよだま「真鍮のアクセサリ」

古代装身具リムル 片桐光治「ピースジュエリー」

精耕社ガラス工房 荒川尚也「雷吹きガラス」

比地岡陽子「暮らしの陶器」

吹き屋「雷吹きガラス」

みわしゅうたろう「銀細工」

【素材マーカー・食】

絹のより 下村ねん糸「絹糸」

餃子工房 ヒーボー「湯き水の餃子」

西銘通商「麻綿糸」

タナカレンコン「レンコン農家」

たなとろ「自家採取の種など」

ベンガラ 中島留彦「古代塗料」

帆船本家 富春館「大野川の食文化と古道具」

もしよか堂「自然食」

やちむん館「琉球民具・古布衣」

棉生テキスタイル「木綿布」 ほか